

2012年10～12月期2次QE予測

経済調査部シニアエコノミスト

山本康雄

03-3591-1243

yasuo.yamamoto@mizuho-ri.co.jp

- 2012年10～12月期の実質GDP成長率は1次速報からほぼ変わらず、前期比▲0.1%（年率▲0.3%）となる見通し（1次速報は前期比▲0.1%、年率▲0.4%）
- 設備投資・公共投資が上方修正される一方、在庫投資が下方修正される見込み。輸出減と企業セクター（設備投資・在庫投資）の調整によりマイナス成長という姿は1次速報から変わらず
- 2013年1～3月期は輸出が底入れすることに加え、個人消費と公共投資の拡大が続くことなどから、1年ぶりのプラス成長に転じる見通し

2012年10～12月期の2次QE は1次速報からほぼ変わらず

3月8日（金）、内閣府より2012年10～12月期の「四半期別GDP速報（2次速報）」が公表される。本日発表された法人企業統計等を受けて推計したところ、同期の実質GDP成長率は前期比▲0.1%（年率▲0.3%）と、1次速報の前期比▲0.1%（年率▲0.4%）からほぼ変わらない見込みである（次ページ図表）。設備投資・公共投資が上方修正される一方、民間在庫投資が下方修正され、出来上りの実質GDPは1次速報とほぼ同じになるとみられる。輸出減と企業セクター（設備投資・在庫投資）の調整により小幅のマイナス成長という基本的な評価についても、1次速報時点から不変である。なお、GDPデフレーター（前年比▲0.6%）は1次速報から変わらず、名目GDP成長率も前期比▲0.4%（年率▲1.7%）と1次速報の前期比▲0.4%（年率▲1.8%）とほぼ同じとなる見込みである。

設備投資は上方修正

法人企業統計季報によると、10～12月期の設備投資（ソフトウェアを除く全産業ベース）は前年比▲7.2%（7～9月期同+2.4%）と前年比マイナスに転じた。もっとも、季節調整済前期比でみると+0.9%（7～9月期同▲4.4%）と小幅ながら4四半期ぶりに増加している。製造業は大幅減（前期比▲5.1%）が続いたものの、非製造業（同+4.4%）が増加に転じた。この結果を受けて、10～12月期のGDPベース設備投資は1次速報（前期比▲2.6%）から同▲1.6%への上方修正が予想される。

民間在庫投資は下方修正

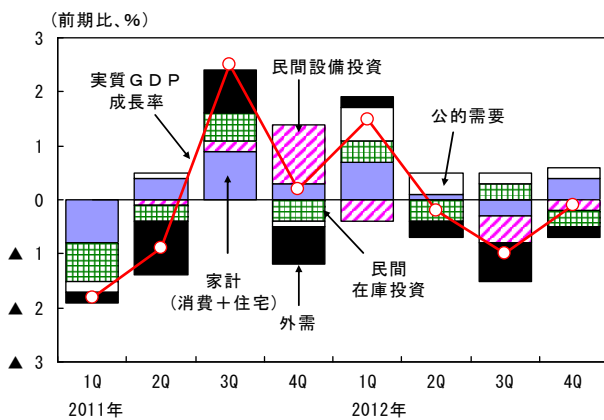
2013年1～3月期はプラス成長に転じる見通し

一方、民間在庫投資は、法人企業統計による原材料在庫や仕掛品在庫の推計値が加わり、下方修正が予想される。実質GDP前期比に対する寄与度は1次速報段階の▲0.2%Ptから▲0.3%Ptに低下する見込みである。その他の需要項目では、公共投資が前期比+2.2%（1次速報同+1.5%）に上方修正されると予測している。

2013年1～3月期は中国など海外経済の持ち直しを背景に輸出が増加に転じると予測される。復興事業の執行による公共投資の増加が続くほか、エコカー補助金の反動による落ち込みから脱しつつある自動車販売が前期比プラスに転じる中で個人消費も拡大を維持するとみられる。1～3月期は1年ぶりにプラス成長に転じると予測している。

※ みずほ総合研究所では、2012年10～12月期の2次QEの発表等を受けて、2012・13・14年度内外経済見通しを改訂する予定（3月8日公表）です。

図表 2012年10～12月期2次QE予測



(資料)内閣府「四半期別GDP速報」

	(前期比・%)				1次QE 10～12
	2012年 1～3	4～6	7～9	10～12	
国内総支出	1.5	-0.2	-1.0	-0.1	-0.1
(前期比年率)	6.0	-1.0	-3.8	-0.3	-0.4
(前年比)	3.4	3.8	0.4	0.3	0.3
国内需要	1.3	0.0	-0.3	0.1	0.1
(1.3)	(0.0)	(-0.3)	(0.1)	(0.1)	
国内民間需要	0.9	-0.4	-0.6	-0.2	-0.2
(0.7)	(-0.3)	(-0.5)	(-0.1)	(-0.1)	
民間最終消費支出	1.2	0.0	-0.5	0.4	0.4
民間住宅	-1.7	2.2	1.6	3.5	3.5
民間企業設備	-2.6	-0.2	-3.6	-1.6	-2.6
民間在庫品増加	(0.4)	(-0.4)	(0.3)	(-0.3)	(-0.2)
公的需要	2.6	1.5	0.8	0.8	0.7
(0.6)	(0.4)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	
政府最終消費支出	1.5	0.4	0.4	0.6	0.6
公的固定資本形成	8.4	6.1	2.5	2.2	1.5
財貨・サービスの純輸出	(0.2)	(-0.3)	(-0.7)	(-0.2)	(-0.2)
輸出	3.4	0.0	-5.1	-3.7	-3.7
輸入	2.1	1.7	-0.5	-2.3	-2.3
名目GDP	1.4	-0.5	-1.1	-0.4	-0.4
GDPデフレーター(前年比)	-1.0	-0.9	-0.8	-0.6	-0.6

(注) ()内は国内総支出への寄与度

(資料)内閣府「四半期別GDP速報」

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。